

大運動会種目審判要領

R8. 7. 21 時点

参加資格及び参加制限／

- (1) 選手については、参加する地域スポーツ・体育協会の該当する地区に住んでおり、その地区の地域スポーツ・体育協会、自治会連合会、公民館長から参加が認められていること。
- (2) 年齢は令和8年10月1日現在の満年齢とする。
- (3) 出場種目は別紙のプログラムのとおりとする。
- (4) 種目の年齢制限は設けないものとする（玉入れ、40回記念リレー、混成リレーを除く）。ただし、選手の選出は各地区で安全面を考慮して行うこと。
- (5) 参加種目数の制限は設けないこととする。（ただし、連続出場は原則不可）

競技方法／

1. 原則Aブロック(大規模)・Bブロック(小規模)別の地域スポーツ・体育協会対抗とする。ただし、40回記念リレー、混成リレーについては下記のとおり別にルールを定めることとする。
Aブロック…川津・乃木・津田・東出雲・古志原・法吉・城西・城東・大庭・宍道・城北・玉湯・竹矢・八雲・鹿島(15)
Bブロック…雑賀・朝日・美保関・持田・古江・八束・白潟・生馬・島根・本庄・忌部・朝酌・秋鹿・大野(14)
40回記念リレー、混成リレーはオープン種目とし、参加スポーツ・体育協会すべてのタイムレースとする。
2. スパイクシューズ(サッカーシューズなどのポイントも含む)の使用は禁止する。
3. 選手は必ず地区名を明示したものを胸部につけること。
4. オープン種目のアンカーは腰ナンバーカードを右腰につけること。
(腰ナンバーカードは本部で用意する)
5. 選手変更については報告を要しないが、各地区の責任において各種目の参加資格要件等を確認のうえ、選手を選出すること。
6. 各種目の招集時刻はその種目開始の30分前とする。(招集完了の10分前には集合する。)
7. 抗議は監督に限り許可する。また、抗議は種目の結果発表後20分以内を有効とする。
8. 選手以外の競技場への立ち入りを禁止する。
9. 参加中の偶然な事故を原因とした傷害により入院または通院した場合等については、松江市民総合災害補償規則に定めるところにより補償する(全国市長会市民総合賠償補償保険)。

1. 玉入れ

- * 参加人数 10 名
- * 参加制限 男女（参加人数のうち、60 歳以上が 5 名以上）
- * 場 所 フィールド
- * 実施回数 A ブロック 7 地区 1 回・8 地区 1 回、B ブロック 7 地区 2 回
- * 競技内容
 - ・全員が立った状態で合図を待ち、玉を持ってはならない。合図（ピストル）と共に玉を持ち競技を開始する。
 - ・玉を全て入れ終わり、全員が座るのを確認した時のタイムを測る。
 - ・2 分経過後、合図と共に競技を終了する。（時間内に全地区が終わった場合は 2 分待たずに合図（ピストル）と共に終了する。）
 - ・審判は 2 分経過後の合図（ピストル）と共にカゴを斜めにするか、棒を上にあげて玉が入らないようにする。それでも入った場合は無効とする。
 - ・2 回目は、対面しているチームと競技場所を移動する。
- * 判定基準
 - ・制限時間 2 分で玉を全て入れ終わったら座り、タイムを競う。玉が残った場合、1 個につき 10 秒を加算する。
 - 2 回実施し、合計タイムで順位決定する。
 - ・タイムが同じ場合は、代表者のジャンケンで決定する。
- * 審判人数(案) 17 名（観察係 8 名、決勝係 8 名、スターター 1 名）
- * 用 具 カゴ（高さ 2.7m）、玉（50 個）本部で準備する。
スチールカゴ 8 本 玉 400 個 合図用手旗 8 組
ストップウォッチ 8 個 ピストル 記録用紙
トランシーバー(予定)

2. 障害物リレー（400m）

- * 参加人数 5 名（男 3 名、女 2 名）
 - * 参加制限 男女（参加資格要件なし）
 - * 場 所 トラック（オープンコース）
 - * 実施回数 A ブロック 7 地区 1 回・8 地区 1 回、B ブロック 7 地区 2 回
 - * 競技内容
 - ・80m×5 名
 - ・バトンタッチはタスキを使う。
- 第 1 走（男）＝ティラノサウルス
- ・スタート前にティラノサウルスのコスプレを着てタスキを手にとってスタートを待つ。
 - 審判は、スタート前にきちんと着れているか確認する。
 - ・合図（ピストル）と共にスタートする。
- 第 2 走にバトンタッチ後、審判はコスプレを回収し、2 レース後の第 1 走に渡し、走者に着てもらう。

第2走（女）＝ハードルくぐり

- ・第1走からタスキをもらい、タスキをかけて走る。
- ・ハードルの高さは76cm。どのハードルを通り抜けてもかまわない。

第3走（男）＝バランスボールドリブル

- ・第2走からタスキをもらい、タスキをかけた後、リングに置いてあるバランスボールを持ち、バウンドさせながら移動する。走者はボールを保持した状態で移動してはならない。
- ・ボールが転がってしまった場合は、転がる前の地点までボールを戻し、再スタートとする。
- ・次の走者へタスキを渡すときは、手前に置いてあるラインまでドリブルし、その後、リングにボールを収めてから、バトンタッチする。

第4走（女）＝三段ダンボール運び

- ・タスキをかけてから、バラバラに置いてあるダンボールを順に縦長に積み重ねて運ぶ。（最後は三段の状態となる）
- ・ダンボール一番下の箱を持つ。（二段目のダンボールと一緒に持つてはならない。）
- ・ダンボールが崩れた場合は、積み重ねてから再スタート。
- ・ミニコーンの位置に、三段積んだ状態でダンボールを降ろした後に、次の走者へタスキを渡す。
（崩れた場合は三段に積みなおしてダンボールを降ろし、バトンタッチする。）

第5走（男）＝大玉転がし

- ・大玉を転がしながらゴールする。
- ・大玉及び人がゴールラインを通過した時点でゴールとする。

＊ 審判人数(案) 27名（ティラノサウルス8名、ハードルくぐり1名・バランスボールドリブル2名・三段ダンボール運び1名・大玉転がし1名、ゴール判定1名、バトンゾーン4名、決勝係8名、スターター1名）

＊ 用 具 ピストル ティラノサウルス16個（別途予備4個用意）
単三電池64個（別途予備16個用意） ハードル8台
バランスボール(直径65cm)8個(別途予備2個用意) リング16セット
ダンボール(高さ31cm/幅22.5cm/奥行22cm)24個(別途予備6個用意)
大玉(150cm)8個
タスキ8本 着順旗8本 ミニコーン8つ

3. フライングディスク

- * 参加人数 10 名（最初の状態：投げる人 9 名＋拾って返す人 1 名）
- * 参加制限 男女（参加資格要件なし）
- * 場 所 各地区応援席前のトラック
- * 実施回数 A ブロック 7 地区 1 回・8 地区 1 回、B ブロック 7 地区 2 回
- * 競技内容
 - ・ 5m 先のゴール(円形)に向かって、1 人 1 投ずつディスクを投げる。
 - ・ 投げる位置のコーンバーに触れて投げてはいけない。
 - ・ 投げ終わったら、次に投げる人のディスクを拾う・返す役割をする。
 - ・ ディスクを返す際は投げずに、手渡しで返す。
 - ・ ディスクを拾い、次の人に返し終わったら、一番後ろに並ぶ。
 - ・ 制限時間 3 分になるまで、繰り返す。
 - ・ ゴールを通過した回数で順位を決定する。
 - ・ 同数の場合はジャンケンとする。
- * 判定基準
 - ・ ディスクがゴールを通過した回数をカウントする。
 - ・ バーに触れた状態で投げ、コーンが動いた場合、その投球は無効になり、ディスクを拾う・返す役割になる。
- * 審判人数(案) 17 名（決勝係 8 名、観察係 8 名、スターター 1 名）
- * 用 具 ピストル フライングディスク 8 枚(直径 23.5cm/重量 100g)(別途予備 8 枚用意)
ゴール 8 個(内径 91.5cm)(別途予備 2 個用意) コーン 16 個 バー 8 個
日本障害者フライングディスク連盟公認のディスク、ゴールを使用
トランシーバー(予定)

4. 祝 40 回記念リレー Around 40×8 (800m) ※オープン種目

- * 参加人数 8 名(男女 4 名ずつ)
- * 参加制限 参加人数の合計年齢が 320 歳以上で編成すること
- * 場 所 トラック（オープンコース）
- * 実施回数 A ブロック 7 地区 1 回・8 地区 1 回、B ブロック 7 地区 2 回
- * 競技内容
 - ・ オープン種目とし、総合得点には加点されない。
 - ・ タイムレースで参加地区の総合優勝を決定し、特別表彰をする。
 - ・ 8 名すべての選手が 100m でレースを行う。
 - ・ 出走順は女性・男性交互に走り、それぞれの性別で若い順に走る。
①女→②男→③女→④男→⑤女→⑥男→⑦女→⑧男
 - ・ 待機場所は第 1 コーナーが①（スタート）・⑤
第 2 コーナーが②・⑥
第 3 コーナーが③・⑦
第 4 コーナーが④・⑧（アンカー）
- * 審判人数(案) 17 名（観察係 8 名、決勝係 8 名、スターター 1 名）
- * 用 具 ピストル バトン 8 本 アンカー用タスキ 8 本
着順旗 8 本 写真判定装置

5. 大玉運び

- * 参加人数 12名(4名×3組) (男6名、女6名)
- * 参加制限 男女(参加資格要件なし)
- * 場 所 フィールド(1試合終わるごとにスタートゴールの向きを入れ替える)
- * 実施回数 Aブロック5地区3回、Bブロック7地区2回
- * 競技内容 90m(各地区に直線のラインあり)
 - ・クロスした4つの棒の真ん中の枠に大玉を乗せてスタートする。
自地区のラインに沿って真っすぐ進む。
 - ・真ん中の枠内から大玉が出た状態で進んではならない。
 - ・棒を持つ際は、棒に貼ってあるテープよりも外側(端側)を持つ。
 - ・30m先の次の組に大玉と棒を渡す。(大玉と棒は降ろさない)
 - ・次の走者への受け渡しは交代ゾーン(前後2.5m以内)で行う。
 - ・大玉を途中で落とした場合、落とす前の地点へ参加者が大玉を戻し、再スタート。
 - ・3組目全員が棒に乗せた大玉と共にゴールラインを通過したらゴール。
 - ・待機場所は以下の通り
第1コーナー付近：Aブロック1組目・3組目、Bブロック2組目
第4コーナー付近：Aブロック2組目、Bブロック1組目
- * 判定基準
 - ・審判は各参加地区に並走する。
 - ・途中大玉を落とした際は、落とした所をスプレーでマークし、再スタートする。
 - ・真ん中の枠内から大玉が出ていないか確認する。
 - ・棒を持つ手の位置がテープよりも外側になっているか確認する。
 - ・横の地区との間隔は5mとするが、隣の地区に大玉がぶつかりそうな状況になった際は、審判がボールを自レーンに戻す。
 - ・着順が目視で判定できない場合はビデオ判定とする。
 - ・1試合終わるごとにスタートゴールの向きを入れ替える。
- * 審判人数(案) 16名(観察係12名、決勝係2名、スターター2名)
※ビデオ係2名(市職員)
- * 用 具 ピストル 大玉(150cm)7個 棒(全長3.75m)28本(別途予備12本)
着順旗 7個 ラインスプレー7個

6. みんなでジャンプ

- * 参加人数 10名（男4名、女4名＋まわす人2名）
- * 参加制限 男女（参加資格要件なし）
- * 場 所 各地区応援席前のトラック
- * 実施回数 Aブロック7地区1回・8地区1回、Bブロック7地区2回
- * 競技内容
 - ・8名が合図（ピストル）とともに、一斉にジャンプし競技を開始する。
 - ・競技時間は60秒とし、その間、何度中断しても再度競技できる。
 - ・縄に引っかかったときの回数は数えないものとする。（10回目で引っかかったとき、次は10回目からカウントを再開する。）
 - ・跳んだ回数の合計で順位決定するが、同数の場合は代表者のジャンケンで決定する。
 - ・各組(4組)の競技スタート前に、30秒の練習時間を設ける。練習開始・終了はアナウンスが合図する。
- * 審判人数(案) 17名（各箇所8名、決勝係8名、スターター1名）
- * 用 具 ピストル ストップウォッチ 記録用カウンター
長縄跳びロープ（10m）8本 記録用紙

7. 混成リレー（800m）※オープン種目

- * 参加人数 8名
- * 参加制限 20代・30代・40代・50代以上の男女各1名
- * 場 所 トラック（オープンコース）
- * 実施回数 Aブロック7地区1回・8地区1回、Bブロック7地区2回
- * 競技内容
 - ・オープン種目とし、総合得点には加点されないものとする。
 - ・タイムレースで参加地区の総合優勝を決定し、特別表彰をする。
 - ・8人すべての選手が100mでレースを行う。
 - ・出走順 ①30代以上女→②30代以上男→③50代以上女→④50代以上男→⑤40代以上女→⑥40代以上男→⑦20代以上女→⑧20代以上男
 - ・待機場所は第1コーナーが①（スタート）・⑤
第2コーナーが②・⑥
第3コーナーが③・⑦
第4コーナーが④・⑧（アンカー）
- * 審判人数(案) 17名（観察係8名、決勝係8名、スターター1名）
- * 用 具 ピストル バトン8本 アンカー用タスキ8本
着順旗 8本 写真判定装置